

3. 人文・文化学群 (1) 学群コアカリキュラム

人文・文化学群学群コアカリキュラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA11111	人文情報学	1	1.0	1-4	秋AB	火5		堤 智昭	人文情報学に関する講義・演習。人文学分野への情報技術応用に関する講義、及び演習を行う。演習では、情報分野で使われているデータベース・ネットワークについて実際にコンピュータを使いながら学習する。	
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1-2	春AB	火1		檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1-2	秋AB	木4	1D201	千葉 建	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1-2	春AB	金3		保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1-2	秋AB	金4	共同利用棟 A201	山田 重郎	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB70C11	中国史概説-a	1	1.0	1-2	春AB	木4		上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編:農耕の始まりから10世紀まで。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1-2	秋AB	木3	共同利用棟 A101	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題に言及しつつ解説する。特に、日本考古学の成果と課題を中心に講義を行う。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB80C11	民俗学概説	1	1.0	1-2	春AB	金4		中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男、桜田勝徳等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90A11	言語学概論-a	1	1.0	1	春AB	火1		池田 潤, 青木 三郎, 池田 晋, 白山 利信, 住大 恭康	世界の多様な言語を概観した上で、言語とは何かについてともに考える。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90B21	応用言語学概論-b	1	1.0	1-2	秋AB	火6	共同利用棟 A101	磐崎 弘貞, 久保田 章, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1-2	秋AB	火5	共同利用棟 A201	加賀 信広	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AC50A41	日本研究概論II	1	1.0	1-2	秋AB	木3	2C310	山澤 学	日本研究に関する基礎的知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、日本史(文化史・社会史)の視点から考察する。日本史における通史を意識しつつ、I. 日本をめぐる歴史認識と思想情況(第1-3回)、II. 日本史を視る眼(第4-7回)、III. 日本研究と「事実」(第8-10回)に関する論点を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 6科目 実務経験教員 AC20241, AC50061の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AC50A91	アジア研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	2B411	山本 真, 吉水 千鶴子	アジアの社会と文化について、歴史を概説する。地域を東アジア圏、南アジア圏にわけて、時代相の大きな画期に留意しつつ、歴史の展開と地域間の交流、文化の諸相を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC20251, AC20261, AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。
AC50E41	文化地理学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3		森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景觀等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC20221, AC50551の単位取得者は履修できない。
AC50G01	先端文化学概論	1	1.0	1・2	春AB	木6		畔上 泰治	文化についてどのような観点から論じることができるか。主として表象に関わるさまざまな文化事象や文化理論を取り上げながら、文化学の多様なあり方について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC30241, AC50701の単位取得者は履修できない。
AC50H71	比較宗教概論11	1	1.0	1・2					宗教の多様性と宗教研究の多様な研究方法について学ぶ。特に宗教的象徴世界、宗教経験、儀礼実践、神話的世界などの側面に焦点を当てる。エリアーデ、マリノフスキー、フロイトなどの古典的な研究を取り上げるとともに、最新の研究動向も交えて、人間と宗教とのかかわりを取り上げる。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)。西暦奇数年度開講。2020年度開講せず。AC30231, AC50861の単位取得者は履修できない。
AE53B31	言語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	2G305	竹沢 幸一	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE52A21の単位取得者は履修できない。
AE53B41	日本語教育概論	1	1.0	1・2	春AB	木5		入山 美保, 神吉 宇一	日本語教育史や国内外の日本語学習者の現状、日本語教師の役割等を学び、日本語教育の方法や意義について考える。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。
AE53B51	日本の文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3		清登 典子	日本の文学、とくに詩歌(和歌・連歌・俳諧・俳句)の特質について考察する。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE53A21の単位取得者は履修できない。

(2) 人文・文化学群グローバル科目群

人文・文化学群グローバル科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA21411	トルコの言語と文化1a	1	1.0	1 - 4	春AB	水5		ジャーヒット カ フラマン	この授業はトルコ語の基礎となる文法の習得を目指し、「読む」「書く」「話す」「聞く」という四つの技能を育むことを目標とします。さらに、トルコの日常生活やトルコ事情を学び、トルコ社会と文化の理解につなげたい。	
AA21421	トルコの言語と文化1b	1	1.0	1 - 4	秋AB	水5		ジャーヒット カ フラマン	この授業では「トルコの言語と文化1a」で習得した基礎文法の実践や簡単な会話の練習をします。さらに、トルコ語で書かれた文章の読解と会話表現のレベルアップをはかります。トルコ文化やトルコ社会についても楽しく学びます。	
AA21623	大連プレ・インターン シップ国際研修	3	3.0	2	秋ABC	応談		田川 拓海, 橋本 修	国際社会で活躍できる人材育成のためには、異文化に目を向け、実際に接することが必要である。大連は日系企業が多く、また日本語教育も盛んである。そこで、大連大学及び大連市内にある企業を訪問し、学生交流・企業説明・企業見学を行う。	高度な英語力が必要である。また、人数制限がある。人文・文化学群生に限る。H28までのAA21621と同科目。詳細後日周知G科目
AA21703	ベトナム国際研修	3	3.0	2 - 4	夏季休業 中	集中		佐々木 勲人	本学の協定校であるホーチミン市師範大学において、ベトナム語の基礎を集中的に学ぶとともに、体験学習を通してベトナムの社会や文化について理解を深める。	対象:全学群 受入先:ホーチミン市師範大学 日本語学部 日本語及び英語で行う。AA21661, AA21701単位修得者は履修不可。詳細後日周知G科目 5月29日(水)説明会実施。6月7日(金)申込締切。
AA21803	海外プロジェクト研修 (ロシア語圏)	3	2.0	1 - 3	夏季休業 中	集中		臼山 利信	ロシア語圏という広大な時空間を体感し、現地の社会情勢や対日関係に関する生きた最新情報に触れることで、各自の専門分野の視点からロシア語圏についての考察を深めるとともに、将来のビジョン形成につながる経験を積むこと。	詳細については、掲示板を確認すること。事前研修(複数回実施)に参加できること。履修登録は事務で行う。G科目

(3) 学群インターンシップ

人文・文化学群インターンシップ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA29113	国内インターンシップ	3	2.0	2 - 4	通年	応談		臼山 利信, 相馬 拓也	日本国内の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、卒業後のキャリア設計を考える機会とすると同時に、就労に必要な実務能力の伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実務の現場を経験し、卒業後のキャリア設計を考える。 2. 実践を通じて、ビジネスマナー、仕事の進め方などの実務能力を身につけ、向上させる。 3. 大学での学修と社会との接点を見出し、今後の学修・研究への意欲を高める。	詳細後日周知
AA29213	海外インターンシップ	3	2.0	2 - 4	通年	応談		臼山 利信, 磯田 沙織, 相馬 拓也	在外の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、海外での仕事に必要な語学力、および国際交渉力などの伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実践を通じた実用的な外国語運用能力の伸長 2. 異文化社会の中で違しく渡り合う国際交渉力の実践 3. 海外での就労を視野に入れたキャリア設計、将来ビジョンの形成	詳細後日周知 G科目